第２学年　単元指導計画【全９時間】

単元名：Lesson8 India, My Country

【瑞穂市立穂積北中学校：濱　正人】

時

ね ら い

学　　習　　活　　動

テストとの関連

①　オリエンテーション[RW]

ラージの友達からの手紙を読み取ることを通して，単元を貫く課題を理解し，見通しをもつことができる。

①導入[SL]

・教師のOral Interactive Introductionを通して，単元の学習内容をつかみ，単元を貫く課題を理解する。

②ラージの友達からのメールを読む。[R]

・ラージの友達からのメールを読み，どんな日本語について紹介するかを考える。

③メールの返信を書く。[W]

・アーシャに説明したい日本語を考え，その言葉について書きまとめる。

④班でそれぞれが書いたメールを交流する。

・仲間が書いたメールの内容を読み，既習表現を効果的に用いて説明している仲間のよさから学ぶ。

⑤自己評価と振り返り

・活動③は意見展開問題に対応しており，その場に示されたテーマについて，限られた時間の中で考えを整理して伝える力を育成する。

②　GET Part1[R]

インドの標識についての説明を読み取ることを通して，受け身の用法について理解したり，インドでどんな言葉が使われているかを理解したりすることができる。

①導入[SL]

・教師のOral Interactive Introductionを通して，本文の概要を理解する。

②新出単語の意味・発音の確認，練習を行う。

③内容理解[R]

・読み取りの視点

　□How many languages are on the sign?

　→Four languages.

　□How many languages do people in India use?

　→At least thirty languages.

　□How many languages does Raj use?

　→He uses three languages.

④教科書本文の音読練習を行う。

⑤教科書p.101のListenを行う。[L]

⑥配られたカードに書かれている身の回りのものについて，ペアでクイズを行う。[SL]

⑦クイズで使った表現をワークシートに書きまとめる。[W]

⑧自己評価と振り返り

・活動⑥は質疑応答問題に対応しており，仲間の英文を聞いて，適切に応答する力を育成する。

③　GET Part1[S]【本時】

学校や身の回りにあるものについてのクイズを作ったり，出し合ったりすることを通して，受け身の用法について理解することができる。

①帯活動[SL]

・配られたカードに書かれている身の回りのものについて，ペアでクイズを行う。

②導入[SL]

・学校や身の回りにあるものについてのクイズを行い，本時の課題を確認する。

③学校や身の回りにあるものについてクイズを作る。

□It’s used in your house. It’s used by your mother. It’s used when we want to wash our clothes.

④ペアでクイズを出し合う。その後，クイズを交換し，他の仲間と出し合う。[SL]

⑤交換した仲間のクイズの内容をワークシートに書きまとめる。[W]

⑥自己評価と振り返り

・活動④は質疑応答問題に対応しており，仲間の英文を聞いて，適切に応答する力を育成する。

【単元のねらい】

・受け身の用法とメールの書き方を理解し，メールを書く場面で活用することができる。知・技

・海外の姉妹校から届いた「日本に行ったときに使える日本語を教えてほしい」というメールに，出だしや結び，その言葉が使われる場面や言葉の意味などの文を効果的に使い，７文程度の正しい英文で書くことができる。思・判・表

・インドで使われている言語についての理解を深めたり，読み手に配慮しながらメールを書いたりしている。態度

How many languages are used in India?

Let’s send an e-mail to Raj’s friend.

Let’s make a quiz about something around you.

【主な言語活動】

第３，５時：話すこと[やり取り]の(ｲ)

　身の回りのものや相手の好きなものについてクイズを出したり，相手に質問したりする活動。

第２，４，６時：読むことの(ｳ)

　インドで使われている言語についての説明を読んで，その概要を把握したり，内容を整理した表を用いて説明したりする活動。

第１，７，８，９時：書くことの(ｵ)

　海外の姉妹校から届いた「日本に行ったときに使える日本語を教えてほしい」というメールに，出だしや結び，その言葉が使われる場面や言葉の意味などを英文で書きまとめる活動。

Dear friends,

Hello. My name is Asha. I’m interested in Japanese culture. So I study Japanese every day. But it is very difficult for me. I’m going to visit Japan next month. Please tell me some useful Japanese words. I’m looking forward to seeing you soon.

S1 : It’s used when you study.

S2 : I think it’s a notebook. Is it right?

S1 : No. It’s not a notebook. It’s used in math classes.

S2 : Is it a ruler?

S1 : No, it isn’t. It’s not a ruler. It’s used when you draw a circle.

S2 : I got it! I think it’s a pair of compass.

S1 : That’s right.

◆クイズでよく用いる表現を板書し，活用できるようにする。

Hello. I’ll talk about “*Domo*.” We use it when we meet someone. It means “Hello” in English. Please use it when you come to Japan.

【評価規準】

◆聞き手が適切に応答できるように答え方や反応の仕方を練習する。

◆どんな言葉について書くか迷う生徒のために黒板にいくつか提示する。

・It’s used in the kitchen. It’s used when you want hot water.

・It’s used in the bedroom. It’s used when you sleep on your bed.

・It’s used in the living room. It is black and square. We can watch many things on it.

知識・

技能

・受け身の用法とメールの書き方を理解している。

思考・

判断・

表現

主体的に学習に取り組む態度

・海外の姉妹校から届いた「日本に行ったときに使える日本語を教えてほしい」というメールに，出だしや結び，その言葉が使われる場面や言葉の意味などの文を効果的に使い，７文程度の正しい英文で書くことができる。

It’s used in winter. It’s used when you go outside. It’s used when your neck is cold.

・インドで使われている言語についての理解を深めたり，読み手に配慮しながらメールを書いたりしようとしている。

時

ね ら い

学　　習　　活　　動

テストとの関連

④　GET Part2[R]

インドの映画についての説明を読み取ったり，いろいろな物についてのクイズを行ったりすることを通して，受け身の用法について理解したり，インドで作られている映画の偉大さを理解したりすることができる。

①帯活動[SL]

・配られたカードに書かれている身の回りのものについて，ペアでクイズを行う。

②導入[SL]

・教師のOral Interactive Introductionを通して，本文の概要を理解する。

③新出単語の意味・発音の確認，練習を行う。

④内容理解[R]

・読み取りの視点

　□What is India famous for?

　→It’s famous for its films.

　□Are more films made in Hollywood than in India?

　→No, they aren’t.

⑤教科書本文の音読練習を行う。

⑥教科書p.103のListenを行う。[L]

⑦自分の好きな本などについてクイズを行う。[SL]

⑧クイズで使った表現をワークシートに書きまとめる。[W]

⑨自己評価と振り返り

・活動⑦は質疑応答問題に対応しており，仲間の英文を聞いて，適切に応答する力を育成する。

⑤　GET Part2[S]

相手の好きな本や歌などについて対話することを通して，受け身の用法について理解することができる。

①帯活動[SL]

・配られたカードに書かれている身の回りのものについて，ペアでクイズを行う。

②導入[SL]

・教師の好きな本についてのクイズを行い，本時の課

　題を理解する。

③対話活動[SL]

・自分の好きな本や歌などについて，ペアとクイズを行う。

④使った表現をワークシートに書きまとめる。[W]

⑤自己評価と振り返り

・活動③は質疑応答問題に対応しており，仲間の英文を聞いて，適切に応答する力を育成する。

⑥　USE Read[R]

ラージのスピーチ原稿を読み取ることを通して，インドではどのような言語が使われているかを理解することができる。

①帯活動[SL]

・配られたカードに書かれている身の回りのものについて，ペアでクイズを行う。

②導入[SL]

・教師のOral Interactive Introductionを通して，本文の概要を理解する。

③内容理解[R]

・読み取りの視点

　□What does *namaste* mean?

　→It means hello or goodbye in English.

　□What is Raj’s first language?

　→It is Marathi.

　□What language does Raj speak at school in India?

　→He speaks Hindi at school in India.

　□Why did many people in India need to learn English?

　→Because India was ruled by the British.

　□What language is Raj learning now?

　→He is learning Japanese.

④新出単語の意味・発音の確認，練習を行う。

⑤教科書本文の音読練習を行う。

⑥内容を整理し，英語で書きまとめる。[W]

⑦自己評価と振り返り

・活動③は要点理解問題に対応しており，まとまりのある英文から必要な情報を読み取る力を育成する。

⑦　USE Read[W]

USE Readを参考にして，日本ではどんな言葉が話されているかというテーマで５文程度の英文で書きまとめることができる。

①帯活動[SL]

・配られたカードに書かれている身の回りのものについて，ペアでクイズを行う。

②導入[SL]

・教師のOral Interactive Introductionを通して，本文の概要を理解する。

③日本ではどんな言語が使われているか，５文程度の英文で書きまとめる。[W]

・日本語でメモを作る。

・英語で書きまとめる。

④書いた英文をグループで読み合う。[R]

⑤仲間のよさから学んだ表現を用いて，自分の英文を修正したり，英文を追加したりする。

⑥自己評価と振り返り

・活動③は意見展開問題に対応しており，その場に示されたテーマについて，限られた時間の中で考えを整理して伝える力を育成する。

Let’s talk about our favorite things.

What languages are used in Japan?

What languages are used in India?

Let’s make a quiz about our favorite things.

S1 : Do you know my favorite book?

S2 : Was it written by Natsume Soseki?

S1 : No, it wasn’t. It was written by Dazai Osamu.

S2 : Is it “*Ningen shikkaku”*?

S1 : No, it isn’t. It was written in 1567.

S2 : Is it “*Hashire Merosu”*?

S1 : That’s right.

・日本では日本語が使われている。

・英語は普段使われていない。

・外国の人と話すときは英語を使う。

・カタカナで使っている言葉は英語が多い。

（例えばサッカーやジュースなど。）

Japanese is used in Japan. Many Japanese don’t use English or other foreign languages. But English is used when we talk with foreign people. And we use English words in *katakana.* For example, soccer, juice, calendar and so on.

S1 : This book was written by Natsume Soseki.

S2 : Is it “*Wagahai-ha-neko-de-aru*”?

S1 : No, it isn’t. It was written in 1914.

S2 : Is it “*Kokoro*”?

◆クイズでよく用いる表現を板書し，活用できるようにする。

◆クイズでよく用いる動詞の過去分詞形を板書し，活用できるようにする。

・Ken’s favorite book is “*Hashire Merosu”*. It was written by Dazai Osamu in 1567. It was read by many people.

・Mika’s favorite song is “*Kazoku.*” It was sung by Fukuyama Masaharu. He is loved by many people.

Many languages are used by people in India. Raj uses three languages : Marathi, Hindi and English. Now he is learning Japanese.

・The book was written by Dazai Osamu.

・This picture was painted by Picasso.

・This picture was painted in the 19th century.

◆ペアやグループでエラーチェックを行い，仲間の表現から学ばせる。

◆ペアやグループでエラーチェックを行い，仲間の表現から学ばせる。

⑨　USE Write[W]

⑧　USE Write[W]

時

「日本に行ったときに使える日本語を教えてほしい」というメールに，出だしや結び，その言葉が使われる場面や言葉の意味などの文を効果的に使い，７文程度の正しい英文で書くことができる。

「日本に行ったときに使える日本語を教えてほしい」というメールに，出だしや結び，その言葉が使われる場面や言葉の意味などの文を効果的に使い，７文程度の正しい英文で書くことができる。

ね ら い

①帯活動[SL]

・配られたカードに書かれている身の回りのものについて，ペアでクイズを行う。

②導入[SL]

・教師のOral Interactive Introductionを通して，本時の課題を理解する。

③アーシャに説明したい「使える日本語」について個人でメールの返信を書く。[W]

・ことばを選ぶ。

・日本語でメモを作る。

・英語でメモを作る。

・構成を考えてメールの返信を書く。

④グループの仲間と書き終わった返信のメールを読み合い，互いのよさを交流する。[R]

⑤自己評価と振り返り

①帯活動[SL]

・配られたカードに書かれている身の回りのものについて，ペアでクイズを行う。

②導入[SL]

・教師のOral Interactive Introductionを通して，本時の課題を理解する。

③ラージの友達からのメールを読む。[R]

④久美のメールを読み取る。[R]

・久美のメールを読み取り，手紙の書き方や内容や構成の工夫について学ぶ。

⑤メールの内容について考える。[W]

・グループで協力して，アーシャに説明したい「使える日本語」を考え，その言葉について日本語で内容や構成を考え，メールの返信を書く。

⑥自己評価と振り返り

学　　習　　活　　動

◆久美のメールから構成や出だし，手紙の書き方を学ばせ，グループで交流しながら書きまとめることで，一人では難しい生徒にもイメージをもたせる。

Dear Asha,

I’ll tell you about this word, “*Shitsurei -shimashita*.” It is used in two main ways. First, you can say it when you leave the room. It means, “Goodbye.” Second, you can say it when you made a mistake. It means, “I’m sorry.” Try to use this word during your stay in Japan.

Yours,

Keiko

◆手紙を書きまとめることが難しい生徒に対して，モデル文や使える表現をヒントカードにまとめ，活用するよう助言する。

Dear Asha,

I’ll tell you about this word, “*Domo*.” It is used in two main ways. First, you can say it when you are helped by someone. It means, “Thank you.” Second, you can say it when you greet someone. It means, “Hello” or “Goodbye.” Try to use this word during your stay in Japan.

Yours,

Ken

Let’s write an e-mail to Asha.

Let’s write an e-mail to Asha.

・活動③は意見展開問題に対応しており，その場に示されたテーマについて，限られた時間の中で考えを整理して伝える力の育成を図る。

・活動⑤は意見展開問題に対応しており，その場に示されたテーマについて，限られた時間の中で考えを整理して伝える力の育成を図る。

テストとの関連